

女性による防火防災訓練 ～日用品で災害対処～

栃木県 那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会
会長 木沢トモ子



1 はじめに

那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会は、栃木県北に位置する那須塩原市の黒磯、鍋掛、東那須野、高林の4地区の婦人防火クラブで組織されています。

主に、各種の研修会、普通救命講習会を定期的開催、住宅用火災警報器の共同購入、全国火災予防運動期間中には高齢者のお宅を訪問するなどの活動を行っています。

東日本大震災時には、市内の避難所でいち早く炊き出しを行うとともに、宮城県石巻市の応急仮設住宅に赴いて炊き出しを行いました。

この時、私は地域に根差した地道な活動を続けることが、いかに大切なことか、いざというときに大いに役に立つことかを改めて感じました。この経験を基に、「女性ならではの視点をもっと防火・防災に生かせないものか」と、婦人防火クラブ員同士で話し合い、家庭にある物を活用

して女性が中心となる訓練を行ってみようということになりました。

2 家庭にあるものでの訓練

この訓練は、消火体験、救出及び搬送、応急手当、通報、土嚢作成、炊き出しなどの様々な訓練をそれぞれブースに分けて配置、消防団員と消防職員の皆様にご指導をいただきながら行っています。また、地域の幼稚園児と保護者も参加して活気あふれる訓練になっています。

消火訓練は、軽可搬ポンプを使つての放水体験を行い、救出・搬送訓練では、角材などを使い倒壊した建物から助け出す方法を体験し、物干し竿と毛布、衣類を使用して担架を作る方法を学びます。

応急手当訓練では、身近にあるタオルやネクタイ、食品用ラップやビニール袋を使用した固定法を学びます。

その他、実際に119番する通報訓練、土嚢の作り方、積み方を学び、家庭にあるいろいろな味のインスタントラーメン



角材を活用した救出訓練



毛布と衣類、物干し竿を活用して担架を作成する訓練



タオルやネクタイを活用した応急手当訓練



消防団員と幼稚園児が競って行うバケツリレー

を混ぜてつくる炊き出し訓練などを行っています。

参加者同士で楽しんで行うことができるようにバケツリレーを競い合いながら行うと幼稚園児の歓声が響き渡ります。

将来、幼少期のこのような体験を通じて、「自分が住んでいる街の安心・安全のためなんだ」と思えることを期待しています。

「訓練」というと難しく厳しい印象を持たれてしまいましたが、この女性による防火防災訓練は、より「体験」に近い雰囲気作りを心掛けています。

3 婦人防火クラブの役割

平成25年12月に定められた「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」には初めて女性防火クラブが法律に登場しました。命を守るための地域防災力の強化と自分たちの地域は自分たちで守ることが定められています。

ご近所付き合いが希薄になりつつある昨今、この女性による防火防災訓練は地域の皆様の触れ合いの場、交流を深める絶好の機会となっていることを実感します。

女性の活躍がより多くの場面に求められるようになりました。

婦人防火クラブは、防火・防災に対する意識を持つことの大切さ、この意識を持つための教育の機会を設け、そこに少しの工夫を加えることにより、新たな視点、発想で地域に根差した更なる活躍の場を広げることができるようになるのではないのでしょうか。

4 おわりに

令和3年2月、第25回防災まちづくり大賞「日本防火・防災協会会長賞」をいただきました。

那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会の今までの活動が実り、そして今後のご示唆をいただいたものと身の引きしまる思いがしております。

昨年と今年はコロナ禍において残念ながら中止となりましたが、この女性による防火防災訓練は、那須塩原市消防団黒磯支団、那須塩原市、那須地区消防組合黒磯消防署の皆様のご協力とご支援をいただいております。この誌面をお借りして改めて御礼申し上げます。

那須塩原市黒磯婦人防火クラブ連絡協議会は、今後も様々な活動を通して地域の皆様方と共に、防火・防災意識の醸成と共有を図ってまいります。